



11/18

財田町の道の駅「たからだの里さいた」で秋の収穫祭が開催されました。福投げや餅つきのほかに、柿・みかんの収穫体験、うどん打ち体験、押花教室、やぎの乳搾り体験など、さまざまなイベントが行われ、訪れた人は思い思いに秋の一日を楽しみました。



11/18

仁尾町曾保のみかんの里で、みかん祭りが開催されました。みかんの即売のほかにも、マグロの解体実演やみかんの個数あてクイズなど、各種イベントも行われ、甘くておいしいみかんを買い求める大勢の人で終日にぎわいました。



11/22~25

北海道洞爺湖町との姉妹市町少年交流事業が行われ、洞爺小学校の6年生ら21人が財田町を訪れました。財田上小学校・財田中小学校の6年生と一緒に、手打ちうどん作りやみかん狩りなど初めての体験を楽しみ、交流を深めました。

詫間幼稚園は、平成17年度から2年間、県の幼児教育振興プログラム事業を受け、就学前の親と子どもが、小学校に期待を持ち充実した生活が送れるようにという願いのもと、幼稚園・保育所・小学校教師の研修や、子ども同士の交流を行っており、回を重ねるごとに子どもたちの交流が深まっています。

香川大学で「第62回香川の発明くふう展」表彰式があり、塩冶篤史君（比地大小3年）の作品が、香川県産業教育振興会会長賞を受賞しました。プリンカップや牛乳パックなど身近なものを利用して作った風速計で、3月に東京で開催される「第65回全日本学生児童発明くふう展」に出展されます。

11/11



## みとよHOT ほっとNEWS

江戸時代から続く初冬の風物詩 仄坊市 が、三野町の本門寺境内で行われました。別名「くいもん市」と呼ばれ、境内やその周辺には、テントや昔ながらの市がズラリと並びました。また、農具や植木の販売もあり、多くの人が列を作っていました。

23日には周辺施設で人形浄瑠璃や囲碁大会などの協賛行事も行われ、大勢の人でにぎわいました。

11/22~25



11/21

詫間幼稚園で県教育委員会主催の公開保育が行われ、園児たちが、詫間小学校の1年生と公園で拾ったどんぐりなどで、車や迷路を作って遊びました。





11/28

刈りまで一生懸命育てたものです。地元の婦人グループ「大地の会」の皆さんの協力もあり、紅白もち、みかんもち、よもぎもちと4色のもちをつきあげました。自分で丸めたおもちを食べて、収穫の喜びと一足早いお正月気分を味わいました。

財田中小学校の児童が、石うすときねを使った昔ながらのもちつきに挑戦しました。もち米は5年生が中心となり農業生産法人(有)林泉の皆さんの指導を受け、田植えから稲



11/24

豊中町の本山小学校で、保護者や祖父母が参加してのふれあい活動が行われました。長寿会の皆さんの指導で、お手玉やあやとり・めんこ・こま回しを体験したり、わらざうり作りに挑戦しました。また、運動場でのグラウンドゴルフやゲートボールでは、一打ごとに歓声や拍手が起こり楽しいひとときを過ごしました。



11/28-12/1

市民の皆さんに三豊市の広さを実感し、魅力を再発見していただこうと、三豊市ぐるっと市政バス第2弾が実施されました。北は詫間町の荘内半島から、南は財田町の塔重山まで、ぐるっと市内各地にある施設を見学しました。

参加者の皆さんは、初めて訪れたという場所も多く、実りのある1日となりました。

豊中中学校で全校生徒と教員約300名が、地震発生時の避難訓練を行いました。授業中に地震が発生したとの想定で、机の下に隠れた後運動場まで避難し、緊急時の行動を確認しました。また、移動地震体験車に乗り込み、震度5弱から震度7までの地震の揺れを体感しました。



12/4



12/10

高瀬町の勝間小学校で、第1回三豊市長杯争奪ペタンク大会が開催されました。32チーム97人の参加者の皆さんは、和やかに交流を深めました。結果は次のとおりです。

- 優勝 豊中Bチーム
- 準優勝 勝間Bチーム
- 第3位 大見中央Aチーム



12/5

12月4日～10日までの人権週間にちなんで、詫間町内のスーパーマーケットで人権キャンペーンが行われました。人権擁護委員さんがチラシを配り、「みんなが思いやりの心を持ち、かけがえのない命を大切にしよう。一人で悩まないで相談しよう」と買い物客に呼びかけました。